



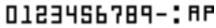


カウンター/クロックのオプション

display=X

Specifies what to display.	counter, clock, date を選択します。 clock はそのサイトの 現在時刻、dateは日付です。 ただし、clock や date が使えるのは styleA, D, Eだけです。	display=counter	
timezone=X	Specifies timezone.	タイムゾーンの設定です。 世界標準時にするときは timezone=GMT です。 日本標準時は timezone=GMT-9 にします。(普通は設定しません)	そのサイトの時間になります。
dformat=X	Specifies date format.	display=date のパラメータを指定したときに有効です。 X の部分には MMDDYY (Month-Day-Year) dformat=ddmmyy , dformat=YYMMDD などと書きます。	dformat=MMDDYY
ft=X	Frame Thickness	枠のふとさです。 単位はドットで指定します。	ft=6
frgb=R;G;B	Frame Color	枠の色です。 RGB,もしくは16進数で指定します。	frgb=100;139;216 or frgb=648bd8
tr=N	Transparency On/Off	バックグラウンドの透明化です。 YはON, NはOFF。 trgb と一緒に使います。	tr=N (透明化しない)
md=X	Max Digits	最高桁数を指定します。	md=6
dd=A	Digit Directory	文字のスタイルA~Eがあります。 A:大きなデジタル  B:活字風  C:手書き風  D:小さなデジタル  E:さらに小さなデジタル 	dd=A
sh=B	Show digits	F だと、カウンターの絵が表示されません。 数だけ、記録していきます。	sh=T
df=data_file	Datafile to store count	CTTNetで作成したファイル名を指定してください。	display=counter のときは ファイル名 必須 。
lit=X	Display literal	X の値を表示します。	None
degrees=X	Rotate X degrees	回転します。 X には90, 180, 270, 360 が入ります。 (縦方向や逆さの表示が行なえます。)	degrees=270